

聖風会マガジン

サローレ スマイル

vol.
10
2021

特集
新任職員

12
の
STORY
物語



どうなっているの？

教えて施設長！

聖風会の 新型コロナウイルス感染症防止策

いまだ世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症(COVID-19)ですが、今号では聖風会が運営する3施設の施設長にこれまでの対応や、今後も見通した取組みについて具体的にお話を伺いました。(座談会は2020年9月1日に行われました。)

職員、ご利用者、施設関係者の 生命を第一に！



司会：聖風会の各施設や事業所の現在の状況を教えてください

雨宮：現場は日々緊張感を持って仕事をしています。プライベートも含め職員一人ひとりが感染防止への意識を高めて過ごし続けてくれており、日々感謝しています。

木村：昨年(2020年)の1月頃にご利用者、職員を守る上で、とにかくウイルスを持ち込まないことを求めました。

昨年4月の緊急事態宣言後も不安と緊張の中ではありましたが、職員の身を守る視点での発信を続けることに加え、予防策を徹底しました。

その結果が現在につながっています。もちろん面会制限の継続も行っています。

渡邊：そうですね。宣言が出た当時はどう対応するかに追われていました。宣言の解除後も事態の見通しが立たないためかなり不安でしたが、施設での緊張感を維持できていることがポイントでしょうか。

司会：緊急事態宣言の前後で対応の違いはありますか？

雨宮：宣言解除後のほうが、お互いにより一層注意喚起をしながら、消毒等の環境整備に力を入れています。

木村：宣言の発令中は、情報が乏しく何が正しいか悩みながらも、職員一人ひとりに外出の自粛を求めました。解除後、ウイルスの弱毒化という情報もありましたが、高齢者にとってどのような影響が出るかわからないため、厳重な注意継続と慎重な情報収集を行っていきました。

渡邊：宣言解除後は、保健所の指示を基本としながら、法人単位、施設単位での具体的な対応が求められました。一番の懸念はマスク等の衛生用品の不足でしたが、地域のつながりでの提供や寄付の協力もあり、おかげさまでなんとか乗り越えてきました。



参加者
雨宮 恵子
花畑あすか苑
施設長

司会
島田 つかさ
千住桜花苑
広報委員

参加者
木村 輝明
千住桜花苑
施設長

司会
平 博美
足立新生苑
広報委員

参加者
渡邊 秀雄
グリーンハイム荒川
施設長

聖風会は、法人施設間で 連携を取り合えることが大きな強み

司会：法人施設間での協力体制、防疫策の連携について教えてください。

木村：備品在庫を共有して、毎月法人の施設長会議にて不足分の集約をする、また管理状況についてはシステム化する等のことを行いました。さらに、職員へは同居家族の状況、基礎疾患の有無等のアンケートをとりました。その上で、住居場所を踏まえた応援可能な施設の情報を整理し、コロナ陽性発生時に備えた応援体制を整えました。施設間の情報共有は現在も、毎週欠かさず行っています。

雨宮：毎週の情報共有の場は、最新情報を得て他施設の効果的な取組みが確認できるので助かっています。それを参考にしながら自分の施設の取組みを強化でき、大変心強かったです。

渡邊：法人としてのルールができる中、それを基準に考え、統一的に取組んでこられたことがよかったです。

活動が制限される中でも、 最高に価値あるものを提供する

司会：自粛期間中は、ご利用者の活動制限があったと思いますが、どのような状況でしたか？

雨宮：デイサービスでは、調理活動は中止しましたが、飛沫のとび具合に注意しながら距離を保って今まで通りのことを実施しました。特養でも、人数を制限しながら、同じ活動内容で行いました。集団体操は人数を半分とし、回数を増やしました。カラオケも人数を極力少なくし、距離を置き、人が代わるたびにマイクの消毒をしました。ユニットでも、参加人数を減らし、距離をとって書道をするなど、三密に配慮し活動を継続しました。



聖風会の 新型コロナウイルス感染症防止策



渡邊：ボランティア活動が全て停止となり、書道や音楽療法の先生も来られず、外部とのイベントがなくなり、活動が狭まっていた。これでは良くないと、イベント・クラブ担当にレクリエーションを考えてもらい、三密を避けながらフロア単位で行いました。面会を制限してから約3か月後からリモート面会を実現させました。ご利用者にもご家族にも、双方涙を流し喜んでいただけました。

司会：面会の方法は他にありますか？

雨宮：現在は、施設内のカフェでフィルム越しに会えるようになっています。制限中は、面会の頻度

職員が安全に、 安心して働けるために

司会：職員の安全安心を守るためにどのような考えを持ち、どのようなことを実行されていますか？

木村：職員を守ることと、ご利用者を守ることは同じことだと思っています。職員には、朝礼等での注意喚起を継続し、感染予防の風土づくりと情報共有の徹底を図りました。職員には最大の努力を続けてもらっている、必ずねぎらいの

に応じて週1回、最低でも月1回は様子をご家族へお伝えしていました。リモート面会が可能となると希望が殺到しました。リモート面会が難しければ、電話をつないだり、差し入れにいらした際は内線で様子をお伝えしたり、ご家族と会えない状況を補っていく工夫をしました。会えないからこそ、日常活動の写真を手紙と共に送るなど、様子をお知らせする頻度を増やしています。

木村：リモート面会は、できる方が限定されたり、電波状況が不安定だったりすることがあるので、今は窓越し面会を併用しています。夏は暑さ対策に、窓の外側によらずで日陰をつくったり、扇風機を回したりしました。さらに生活の様子が見えるようご利用者の写真付きのメッセージカードをご家族等に送ることもしています。

渡邊：電子機器が苦手なご家族には、来所いただければパソコン、タブレットをその場で準備し、リモート面会ができるようにしました。ご家族に会えないことで不安になるご利用者もいらっしゃる、こちらからご家族へ面会の機会をつくれるようはたらきかけました。

言葉をかけるように心がけています。「不安と緊張の中、事業を継続できていることは皆さんの努力のおかげであり、日々業務に従事していただきありがとうございます」と感謝の言葉を掲示板等にも載せています。見てもらえているかな？

司会：もちろん見えています！気にしてもらっていることがわかり嬉しいです。みんなでがんばろうという気になります。



地域の関係機関との連携

司会：地域の関係機関との連携について教えてください。

渡邊：やはり未知のことでもあり、情報の伝達には難しさがありました。これからの対策を考える上でも、保健所、区の関係部署とは現状の把握や情報の共有について相談し、その後も連携できる関係を築いていきました。さらに、協力医とは毎月1回、安全衛生委員会の時に、専門家である医師より医療面の情報をいただいたり相談をさせていただいています。やはり専門的な指針があることは大事です。その情報をもとに、職員に向けて、悲観的になりすぎずに、予防策をとっていくことを伝えるようにしています。

木村：あとは、備品を整えていることをきちんと職員に伝え安心してもらう。そして予防や陽性者発生時の対応マニュアルの整備です。特に対応マニュアルの作成には苦慮しましたが、未知なるウイルスへの備えは必要です。さらにマニュアルを作成した先に、内容を現場の職員にしっかり浸透させていくことが課題になってくると感じています。

雨宮：施設によっては非常勤で他の事業所でも働くダブルワークの方もたくさんいます。聖風会の感染予防の対応を理解していただき、他の勤務先で何かがあったら、すぐに共有してほしいと願っています。

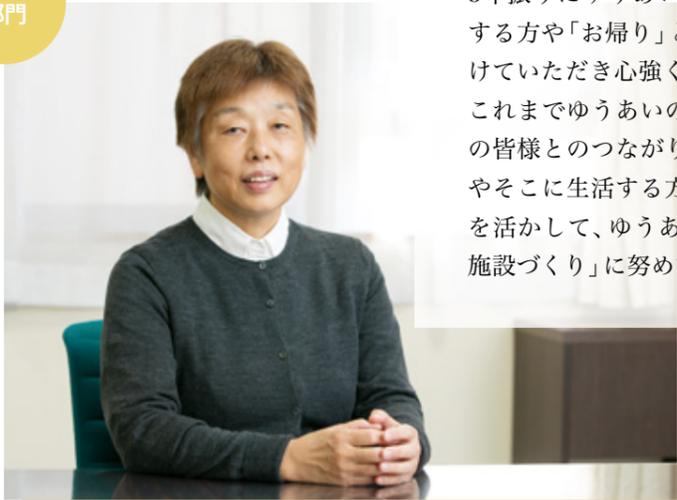
求職者に向けて

司会：最後に、介護施設で働きたい人へ向けて一言お願いします。

木村：聖風会は今回のことで見れば、システム化された中で備品をそろえ、マニュアルを整備していき、法人としての体制を整えてきました。法人の規模も大きいので、法人内の事業所間での応援体制を構築しやすいです。そのため、地域における期待も大きく、未知の事態にも取組んでいく責任を感じています。地域の信頼をつくっていく法人に関わる方が少しでも増えたらもっと福祉をより良くしていけると感じています。



六月
部門



2020(令和2)年9月1日付でゆうあいの郷六月施設長に就任いたしました、高橋貴枝と申します。1990(平成2)年足立新生苑に介護職員として入職後、ゆうあいの郷扇の通所介護相談員、その後ゆうあいの郷六月の特養相談員7年、通所介護相談員4年を経て、荒川部門西日暮里単独通所介護事業所の所長として勤務し、今回5年振りにゆうあいの郷六月に戻って参りました。初めてお会いする方や「お帰り」と声をかけて下さる方など、色々な方に声をかけていただき心強く、感謝の気持ちでいっぱいです。これまでゆうあいの郷六月が大切にしてきたことを引継ぎ、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、自分自身が勤務した地域やそこに生活する方々から教えていただいたこと、経験したことを活かして、ゆうあいの郷六月では「地域に信頼していただける施設づくり」に努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

ゆうあいの郷 六月
たかはし たかえ
高橋 貴枝 施設長

2020(令和2)年9月1日付で町屋在宅高齢者通所サービスセンター所長に就任いたしました皆葉英男と申します。約40年間足立区役所で公務員として働き、定年退職を機にかねてからの民間で働く希望が叶い、介護老人保健施設で働いた後、現職に至っております。区役所在職中に、3年間介護保険の仕事に携わったことと介護施設で親がお世話になったこともあり、退職後はできれば介護の現場で働きたいという思いが幸運にも叶いました。介護の経験もない私を受け入れていただいたことに感謝しかありません。今後は、「感謝と恩返し」を肝に銘じ、ご利用者、ご家族にとってより良い施設であり続けるために、微力ではありますががんばっていきたいと思います。

荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター
みなば ひでお
皆葉 英男 所長



荒川
部門

Questions & Answers



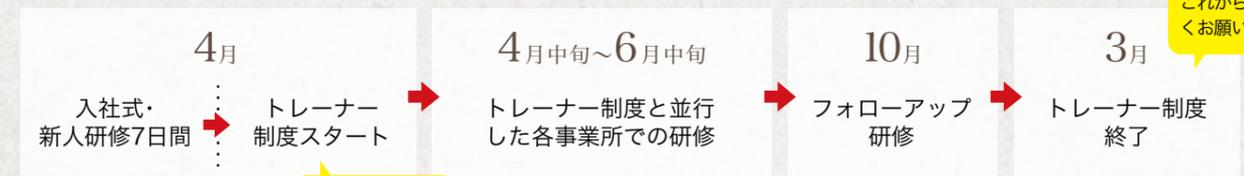
2020年も聖風会には
12名の新任職員が入職しました。
今回は12名の新任職員を
担当トレーナーからのメッセージと共に、
成長ストーリーとして
お届けします。

What is「トレーナー制度」?

新任職員が安心して職場環境に慣れ、プロとして成長できる制度です。一人ひとりに合ったトレーナーがつき、業務指導や相談役を担い、不安や疑問を早期に発見し解決を図っています。熱心で親身な指導で新任職員は成長でき、新任職員への指導の中で、トレーナーにも新たな気づきがあり成長できる。頼りになる人たちに囲まれながら頼りにされる人になる、人材育成制度です。

トレーナー制度の特色

- 1 聖風会オリジナルの「DO-簿」という研修簿を用いた指導項目の可視化、標準化
- 2 1年間をかけて成長を見守る
- 3 「DO-簿」に加え、面談、研修を組み合わせた体系的な育成



体系的に学べて
自信が持てた

先輩・後輩として
これからもよろしく
お願いします!

もっと知りたい方は
「介護職員のリアル見せます!」をチェック!





1 あなたの好きな〇〇は？
歌手のLiSAさん

2 自信につながったこと
あるご利用者の様子に違和感があると思ったら熱が…。自分が一番気づけたため、すぐに救急搬送の対応ができました。この経験が自信につながりました。

3 今後の目標
トレーナーや先輩職員の見守りから段々と卒業し、しっかりと一人前に介助ができるようになる！

4 トレーナーへひとこと
上手くいかなかった時には、指導するだけでなく私のその後の様子にも気を配ってくださってありがとうございます。いつも感謝でいっぱいです。



小林 舞依トレーナーから
阿部職員へ

阿部さんが配属されてから半年。あっという間でしたね。トレーナーという役割を初めて担い、私自身も戸惑いながら過ごした半年でした。私も阿部さんと組む毎に成長を実感しています。何を行うべきかより先の、どう組み立てて動かすか日々できるようになってきている！と感じます。成長を間近で感じられて嬉しいです。



1 あなたの好きな〇〇は？
家で映画やドラマを観ること

2 自信につながったこと
先輩方を見て学んでも、実際に介助すると緊張で上手くいかず…。できないと悩むこともありましたが、先輩方に教わったポイントを取り入れていくと少しずつできるようになり、自信ができました。

3 今後の目標
ご利用者の安心した生活をつくっていきけるよう、困りごとや小さな変化、身の回りの様子にいち早く気づき改善できるようになります！

4 トレーナーへひとこと
困りごとや不安が無くなるよう声をかけてくれ、わからなそうにしていると丁寧に教えてくださり、ありがとうございます。まだまだ行えることは少なく、これからも困ったり悩んだりしたら相談させていただきたい！と思いますが、業務を正確に行うことができるように努力します。今後もよろしくお祈りします。



大竹 真人トレーナーから
鈴木職員へ

持ち前の明るさ、人懐っこさですぐに馴染み、ご利用者にも人気者です。バワフルすぎて落ち着きがない印象もありますが、そこも鈴木さんの個性だと思います。長所そのままに、伸び盛りの今だからこそ基本的なことを忘れず、成長してほしいと思います。そして、先輩、同期と周りの職員を見ながら自分の仕事に活かし向上心を持ち、鈴木さんらしくがんばってほしいと思います。



1 あなたの好きな〇〇は？
音楽・映像・動画を観ている時間

2 自信につながったこと
先輩方の後ろで観察した時には「できる」と思っていたのですが、実際に行うと思った通りにはいかない。すごく悔しかったです。コツを聞いて何度も繰り返してできるようになった時、すごく嬉しかったです。

3 今後の目標
正しい知識と根拠を持って、アイデアを発信する職員になるため、ご利用者と関わりながら、専門職の視点を広く持てるようになる！

4 トレーナーへひとこと
できない部分と一緒に考えながら振り返り、優しく丁寧に教えてくださいました。「宮内さん大丈夫？」「できた？」などの優しい言葉がとても励みになっています。これからも、加藤さんのように専門的な視点を持ってご利用者と関わられるよう、成長していきたいです。



加藤 亜理沙トレーナーから
宮内職員へ

どんな状況でもご利用者を第一に考え支援し、楽しそうにやり取りをしている姿が印象的です。一人ひとりをしっかり見ており、些細な変化にも気づくことができている。小さな気づきからより良い支援へつなげたり、入職時からすぐ質問し、自分でできることはないか考えながら積極的に動いています。段々と周囲の状況を踏まえ、フロア職員のことも気にかけるようになった姿を見て頼もしく感じています。



1 あなたの好きな〇〇は？
身体を動かしたり、漫画を読んだりゲームをしている時

2 自信につながったこと
最近は緊張することも少なくなり、自分から挨拶や声をかけることも多くなりました。「自分から」が積極的にでき、ご利用者に褒めていただけることもあって、成長の実感が持てました。

3 今後の目標
ご利用者の負担が少ないスムーズな介助のため、介護技術の向上に努めます！

4 トレーナーへひとこと
いつも優しく、気遣っていただきありがとうございます。私は、進んで交流するのがあまり得意ではないので、とても助かっています。今後ともご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお祈りします！



三井 一悦トレーナーから
笠原職員へ

入職当時は、緊張していましたが経験を経るほど成長が目に見えてわかりました。コロナ禍で研修がなかなかできなくても日々の業務で学べることは、笠原さんなりにしっかり学べていたと思います。ご利用者との関わり方もいつも丁寧な姿を見てこちらも勉強になっています。対応の難しい方にも正面から対応し今では「今日笠原さん居る？頼みたいことがある」と信頼の声が聞かれています。これからも六月と一緒にがんばっていきましょう！



1 あなたの好きな〇〇は？
飼っているチンチラの「キルア」

2 自信につながったこと
覚えたての頃は一つの介助に30分程かかり、ご利用者に負担をおかけすることもありましたが、今ではコミュニケーションもとりながら、10分以内でできるように！お互い負担の少ない心地よい介助ができるようになりました。

3 今後の目標
技術や気持ちを向上させて、日々を楽しくさせていく働き方をする！

4 トレーナーへひとこと
春木さんのように仕事ができるようになりたいと思っています。ご利用者にも、いつでも穏やかに対応されて、尊敬しています。でも、トレーナー以外にも他たくさんの業務に携わっているの、「お疲れ様です」とお伝えしたいです。



春木 浩美トレーナーから
王職員へ

超がつくほど真面目で親切、丁寧です。高齢者を通じて日本の文化を学びたいですと言っていた昨年の春、今もその志は高く、ご利用者にも評判です！時折「今何と書いていましたか？」と早口な日本語に目を丸くして先輩職員に聞きに来る王さんに雰囲気はホッと和みます。今は故郷にも帰れず寂しい思いをしている中、どんな時でも笑顔で丁寧に仕事している姿には本当に頭が下がります。王さんは台東の宝です！



1 あなたの好きな〇〇は？
料理！ベトナム料理が得意です

2 自信につながったこと
入職したての頃に比べて、ご利用者一人ひとりの様子の変化に細かく気づけるようになりました。風邪の症状や具合の悪さは、ご利用者の健康に関わるのでこれからも丁寧に見ていきたいと思えます。

3 今後の目標
なんでもできるリーダーのように！そして、ご利用者のケアプランがつかれるようになりたいです。

4 トレーナーへひとこと
実は、第一印象は「怖そうな人だな」と思っていました。しかし、いつも笑顔で接して下さり、とても優しい先輩なのだとも身をもって知りました。だからこそ、佐々木さんは質問したい時は一番に質問する先輩です。



佐々木 秀吉トレーナーから
タオ職員へ

タオさんは「日本語は難しい」と話をしてくれたことがありますが、ご利用者の方や職員ともコミュニケーションがとれています。ご利用者からも「タオさんは優しい人よ」との声も聞かれています。これからも大変なことが多いと思いますが一緒にがんばっていきましょうね！

ジンジ



千住部門

介護福祉士専門学校 卒業

- あなたの好きな〇〇は？
マンマーの父親と1か月に1回の電話
- 自信につながったこと
ルールや方法が覚えきれない頃は、上手くいかず逃げたいと思うこともありましたが、学んだことを整理し、わかってできるようになると、安心に変わりました。適切な介助ができることが自信になりました。
- 今後の目標
ご利用者の笑顔、私の笑顔が日々の中にたくさんあるよう、優しく丁寧で自由な生活を支える介助ができるようにしていきます！
- トレーナーへひとこと
相手の立場に立って考え、行動することを学びました。いつも丁寧に教えてくださり、ありがとうございます。これからもよろしく願いします。



山口 智布トレーナーから
ジンジ職員へ

ご利用者への優しい声かけや明るい笑い声にいつも元気をもらっています。普段はシャイなジンジさんですが、ご利用者のこととなると「もっとこうしたいほうがいいのではないか」とご利用者に寄り添った意見をしっかりと発信してくれるので、とても頼もしいなと思っています。言葉や文化の違いで大変なこと多いと思いますが、困ったことがあればいつでも声をかけてください。

村井 七葉



千住部門

浦和大学短期大学部 介護福祉科

- あなたの好きな〇〇は？
おいしいご飯屋さん探し
- 自信につながったこと
覚えることに手いっぱいだった頃、ご利用者の気持ちに気づき、寄り添うことが十分にできませんでした。今はご利用者の立場になり考えることで、不安さに気づき安心させる声かけができるようになったと思います。
- 今後の目標
ご利用者は日々同じ状態とは限りません。一日の生活を細かに観察し、違和感や変化を捉えられるようになりたいです！
- トレーナーへひとこと
ご利用者の介助や業務で理解すること、覚えることに時間がかかりました。今でもわからないことはたくさんあります。その時、吹田さんは同じことを何度聞いても嫌な顔一つせず、一から丁寧に、なぜこのご利用者はそのような支援が必要なのか、なぜこの業務は行うのかと、根拠を一つ一つわかりやすく教えてくださり、とても感謝しています。



吹田 亜美トレーナーから
村井職員へ

入職から慣れない日々で、毎日が大変だったかと思っています。次々と新しい仕事が増えてくる中、ご利用者と真摯に向き合い、常に話を傾聴し寄り添う姿は、お相手に安心をもたらしていたと思います。つらい時、しんどい時には、周りのみんなで助け合って、ご利用者の生活の支援をしていきましょう。

原橋 大空



花畑部門

大正大学 社会福祉学科 人間学部

- あなたの好きな〇〇は？
back number「手の鳴る方へ」
- 自信につながったこと
入職したての頃には上手く移乗をできなかったご利用者を、自信を持って介助できる技術が身についたことで、安全に移乗できるようになりました。
- 今後の目標
ご利用者一人ひとりに合った丁寧なケアを行い、その人らしい生活のサポートができるようになりたいです！
- トレーナーへひとこと
いつもどうしてこれが必要か、なぜこのように行うのかといった、それぞれの根拠をわかりやすく丁寧に仕事を教えてくださいました。ありがとうございます。



大熊 竜也トレーナーから
原橋職員へ

大学時代は社会福祉を専攻しており、介護職のスタートはまさに一からでしたが、ショートステイという、ご利用者の入れ替わりの目まぐるしい環境下の中、日々奮闘していますね。新人の頃は、三大介護に目がいきがちなのですが、原橋さんは僅かな表情や声のトーンの変化や、言葉の背景に気づく洞察力に長けており、介護職としてのポテンシャルは非常に高いと考えています。

大竹 奈々加



花畑部門

東京未来大学福祉保育専門学校 介護福祉科

- あなたの好きな〇〇は？
母がつくってくれるハンバーグ！
- 自信につながったこと
入職時にはできなかったご利用者の介助を安全に行えるようになりました。
- 今後の目標
ご利用者により安全に快適に過ごしていただけるケアをする！
- トレーナーへひとこと
いつも優しく教えてくださりありがとうございます。菅野さんがユニットに居らっしゃると安心してケアを行うことができます。



菅野 知幸トレーナーから
大竹職員へ

私が新人の時より落ち着いてケアにあたっています。疑問に思うことや質問は都度自ら確認しているので頼もしく思います。これからも経験と知識を積み上げ、ご利用者に寄り添い、その人がより良い生活を送れるようにしていきましょう。

内田 勇佑



花畑部門

桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部 スポーツテクノロジー学科

- あなたの好きな〇〇は？
サッカー！ポジションはボランチでした
- 自信につながったこと
花畑あすか苑でアルバイトをしたので、更なる経験を重ね、確実に知識を習得できていると感じています。加えて、自分の考えをしっかりと根拠をもって伝えていくことも自信になっています。
- 今後の目標
職員、ご利用者、ご家族から信頼されるユニットリーダーになります！今まで支えていただいた方への恩返しができるように…。
- トレーナーへひとこと
私がアルバイトで働いている時から様々なことを教えていただき、正職員となった今では次のトレーナーとして成長させてくれる大きな存在です。真摯に向き合い指導して下さるからこそ今の自分があると思っています。一言では表せないほど感謝しています！



石澤 希味子トレーナーから
内田職員へ

いつも前向きで何事にも情熱を持っていてとても熱い人です。ご利用者へも真摯に向き合っています。時折、慌てたり抜けてしまうこともありますが、自分自身で学びながら日々成長しているのではないかと思います。ご利用者に寄り添い1人の介護士として成長してほしいと思います。

坂倉 希里恵



花畑部門

浦和大学短期大学部 介護福祉科

- あなたの好きな〇〇は？
嵐(ジャニーズ)
- 自信につながったこと
先輩方の後ろ姿を見ていると、まだまだ成長の実感を持つには早いなんてことを思ったりもしますが、これから自分自身でも成長したと感じられるような支援にあたっていきたいと思います。
- 今後の目標
一番に自分で考えて、判断が必要なことはしっかりと聞いて進める。自身の成長を見つめられる働き方をする！
- トレーナーへひとこと
まだ、自信が持てない対応、介助があるので内田さんや他職員に聞き、見ることで、弱点を探っていきます。拒否された時や対応に困った時に他職員の対応等を思い出して支援を行いたいと思います。一つ一つできるように頑張ります。



内田 直矢トレーナーから
坂倉職員へ

独り立ちをして間もない頃は、体格の大きいご利用者の介助に苦戦したり、介助の優先順位がわからず慌てたりしている姿が目立って、1人でユニットを任せていけるか不安でした。しかし、ご利用者との関わり方、介助方法などわからないこと、不安なことはそのままにせず先輩職員に聞き、説明を受けながら介助を行い、より良い方法を見つけてご利用者の支援にあたる姿にはとても成長を感じます。

watashi no kodawari 私のこだわり

千住
部門

誰にでも自分にとってなくてはならない特別な思い出を持った、
コトやモノがあります。今回は個人ではなく、
千住部門の千住桜花苑広報委員の皆さんの「壁新聞」の
こだわりを紹介します。

限られた時間でみんなを笑顔に

千住桜花苑広報委員会は、法人広報誌『クローバースマイル』のスタートと同様に、施設のご利用者の日常生活の様子をご家族や皆様にさらに発信したいと壁新聞の発行を始めました。

毎月第一金曜日に、各フロア、デイサービス、総務から1名ずつの5名が参加して制作しています。

まずはテーマの設定です。次月に行事があれば行事を中心に…などと決めていきます。内容が大まかに固まれば委員の腕の見せ所。

各ユニットの委員にご利用者の写真を撮ってもらい、そのデータをまとめたら、今度は総務の委員が写真やテーマに沿ったモチーフや月表示などを委員会前に用意します。このように役割分担をしながら、限られた時間の中でみんなが笑顔になる壁新聞を試行錯誤しながら制作しています。



広報委員みんなで、集中して編集作業中

見つけて嬉しい、笑顔が嬉しい壁新聞づくり

面会の際、ご利用者がご家族とフロアをお散歩されていると壁新聞を見て嬉しそうなお声が上がっていました。時にはご家族から「この写真の笑顔がいいからほしいわ」とお声がけいただいたこともあります。日々の様子を近くで見ている私たちだからこその表情や日常の様子を撮れるように、これからもシャッターチャンスを狙っていきます！
喜んでいただけているからこそ、より一層ご家族や多くの方に見ていただくという思いで1枚でも多く載せられるレイアウトなど工夫しています。写真を眺めながら「いた！いた！元気そうで良かった」という声が私たちの励みになっています。今は面会が制限される中ですが、これからも皆さんを笑顔にできる壁新聞をお届けしていきます。



レイアウトを工夫して、読みたくなる紙面にするぞ



季節に合わせた形で手づくり！

聖風会法人Webサイト リニューアル進行中！

5年ぶりに聖風会のWebサイト(HP)がリニューアルします。

これまではスマートフォンのサイズに未対応のため見にくい画面になることもありましたが、今回のリニューアルによりどのような端末でもそれぞれに合わせた表示ができるようになります。

加えて、ご利用者とご家族、地域の方々、職員、そして聖風会に関わる多くの皆様に魅力をお伝えし、さらには聖風会の“ファン”になっていただけるよう、見て楽しめるコンテンツを充実させていきます。これまで法人広報誌『クローバースマイル』のみで発信した情報をWebサイトにも掲載し、さらにWebサイト独自の記事も発信していきます。毎日チェックしたくなるWebサイトを鋭意制作中ですので、皆様心待ちにしてください！



編集後記 & 10号にちなんで「10」にまつわるあれこれ

■聖風会のコロナ感染防止策について3人の施設長にお伺いしました。私自身もご利用者と職員を守るため継続して取り組んでいます。私の「10」は10年使用しているママチャリです。キコキコと通勤に日々がなびってくれています。前タイヤで犬の糞を避けて後ろタイヤで踏んだこともあります。メンテナンスしながら乗る時、自分と重ねてしまいます。「充」分に働いてくれる私の大切な相棒でもあります。(足立部門 平 博美)

■「働きながら勉強する」言うことは簡単ですが実際には大変なことです。介護福祉士合格支援プロジェクトは日々の業務の後、資格取得に向けがなびている職員の熱意を後押しするための素敵なプロジェクトです。私の「10」はずばり減量！！10キロ減を目指してダイエット(断酒含む)。健康診断に引っ掛かるお年頃になりました。成功の暁には祝い酒をたらふく飲みたい今日この頃です。(六月部門 小口 巧)

■今回は、記事だけでなく新人職員トレーナーとしても広報誌に携わりました。普段聞けないようなトレーナーの思いや一面を知る機会ができたことに感謝です。「10」といえば、直近ではやはり給付金。旅行などに使いたいところですが、なかなか外出、旅行ができない世の中なので早く家族で安心して旅行に行ける日が来ればいいなと思います。(扇部門 大竹 真人)

■今回の「私のこだわり」では、千住桜花苑の広報委員会にスポットを当てました。見るだけで楽しめる壁新聞にはたくさんのアイデアと努力でつくられた「愛」がつまっていました！「10」といえば、祝！クローバースマイル10号目！私は立ち上げ当初から携わらせていただいていた、クローバースマイル歴はもはやお局の域です(笑)。広報誌制作の裏側ではたくさんの先輩方に出会い、刺激を受けてきました。それは今も変わらず、10回目の想いが届いたら嬉しいです。(千住部門 島田 つかさ)

■新任職員12の物語を担当しました。今回は、トレーナーの職員にも新人職員について教えていただき、トレーナーとトレーニーがお互いに成長し合っているということが伝わってきました。新人職員の今後の成長を見守りたいと思います。「10」といえば、私が足立区で1人暮らしを始めて10年が経ちました。いまだに知らないことがたくさんある足立区。意外と広い足立区。この状況が落ち着いたら足立区を散策したいと思います。(花畑部門 石澤 希美子)

■コロナウイルスの関係で皆様が楽しみにしている「FUJI旅」の取材が行えませんでした。各施設のコロナ対策や新人さん紹介と内容は盛りだくさんです。私の「10」といえば、結婚して10年が経ちました！笑いあり、涙ありの10年でしたが、3人の子宝にも恵まれ、家族5人笑顔で健康に日々過ごしております。そんな家庭を支えてくれている初美様！この場を借りて一言！この10年間ありがとうございました！これからも末永くよろしくお願いたします！(荒川部門 藤田 潤一)

■祝10号の表紙は記事にもあるトレーナー&トレーニーさんたち、KAIGOのプロの姿です。文字からではない何かを感じていただけたと思います。私の10…ten…テン。「テンテツクツクテツクテン」これは江戸囃子の太鼓の、いわゆる譜面の音の表現です。なぜか頭に思い浮かんできました。今年、祭囃子が聞こえてくる社会に戻りますように。(台東部門 清水 葉子)

■クローバースマイル、早くも10号の発行を迎えました。多くの皆様の心をくすぐるような記事づくりに毎号奮闘しております。今回は人材の採用から育成面に焦点を合わせた内容です。私の「10」という「家族」かな。自分の記憶にはありませんが、私が生まれたばかりの頃は10人家族で生活していたと両親からよく聞かされていきました。大家族って楽しいんだろうな…。(広報委員会委員長 金高 良和)



「最高に価値あるものをすべての人に—地域に信頼される施設を目指して—」

「経営理念」

私たちが目標とすること

地域に貢献する総合福祉事業の展開
卓越したケアサービスによる顧客満足
効果・効率を考えた弛まぬ業務改善

「運営理念」

私たちが大切にしていること

相手の立場で見る・聴く・考える
相手の笑顔・自分の笑顔
その人がその人らしく生きること

今、伝えたいこと 未来の聖風会

業務執行理事 伊藤 俊浩



足立区千住寿町生まれ、花畑育ちの足立っ子。1989（平成元）年に介護職として入社し、その後、各部門の施設長を歴任。2018（平成30）年より業務執行理事に就任。

第3回

未来の聖風会を描く

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防に全職員総出で努めた一年になりました。

感染症の影響は日々のサービス提供に留まらず、法人の中長期計画に掲げているグローバル採用計画（中長期計画本文では、「外国人労働者受入」と表記しています）にも及びました。

中長期計画に則り各担当職員がベトナム、モンゴル、インドネシア、カンボジアに足を運び、将来日本で介護の仕事に就きたい現地の学生の方々と直接お会いして、来日から日本語学校、介護福祉士養成校卒業までの支援、そして当法人へのグローバル採用へと様々なお手伝いをこれまでいたしておりますが、昨年4月の来日を予定していた全ての方が感染症の影響により延期となってしまったことは、とても残念な出来事となりました。

来日延期により、各国の皆様とのご縁が遠のいてしまうのではないかと心配しておりましたが、昨年10月から始まった入国規制緩和により少人数ずつではありますが来日の嬉しい声が聞かれるようになり—安心していきます。

当法人では、グローバル採用をこれからも推進し介護のプロとしての育成に力を注ぐとともに、聖風会で学んだ介護を将来的には自国で展開してもらいたいと考えています。

各国で当法人を見捨てず待機をしてくれていた皆様にはご迷惑とご心配をおかけしましたが、「日本に来て良かった。聖風会に来て良かった」と言ってもらえるような支援と育成に全力を注ぎ、半年間の遅れをぜひ取り戻したいと思えます。